

# 3月 虹だより

虹のこころ保育園

## 「食べる」環境を整え 見守って

食べるものが極端に限られる、母乳以外は口にしないなど、子どもの「偏食」の中には、育児や発達「つまずき」によるものが多い。こつを知れば、予防できる。しかし、中には背景の病気などが隠れていることもある。

かるがも藤沢クリニック(神奈川県藤沢市)の江田明日香院長(39)は「赤ちゃんは自分で試行錯誤する機会を大切にしたい」と話す。赤ちゃんは、生後数カ月は反射的に母乳やミルクを飲むがそれ以降は食べ物をなめたり、つかんだり、はきだしたりしながら、食べる技術を学ぶ。体得に時間がかかる子もいる。親は何でもたくさん食べてほしい、食器を使うのが当たり前と考えがちだが、焦らずに見守るようにする。

いきなりスプーンを口に入れられたり、ごはんが口に残っているのに次の一口を運ばれたりして、スプーンを嫌がるようになる子もいる。手づかみで食べようとした時には、スプーンを使うことを無理強いせず、子どもが食事に取り組みやすい環境作りが大切だ。

一方、自閉症や発達障害の子は偏食になる場合が少なくなく、感覚が過敏な子が特定の食感を嫌がる場合もある。色、味、舌触りや温度、におい、食器へのこだわりや、嫌がる気持ちは簡単には変えられない。栄養失調や成長の遅れが出るような重い偏食は「摂食障害」と診断される場合もある。

子どもの食事支援の経験が豊富な、言語聴覚士の山崎祥子さん(70)は「食べられないものをいきなり食べられるようにするのはではなく、何かを食べられることを認めてあげて、そこから幅を広げる工夫が大切だ」と話す。

子どもの偏食が強いと、親が自信を失う場合もある。山崎さんは「親を責めるのではなく、小児科医、管理栄養士、保育園や幼稚園、学校の担任との連携や、子どもの偏食を経験した親の集まりなどを利用して、解決策を探ることが大切」と話す。

朝日新聞 2018年 12月 21日

桜の木の色が柔らかくなってきました。春はもうそこまでやって来ています。いよいよ卒園、進級の季節です。

未来に向かって期待に胸をふくらませ、4月を迎えようとしているお子さんを拝見していると、こちらまでワクワクします。

保育園では卒園式の準備の真っただ中です。4歳児のゆり組さんも参加し、厳かに卒園式を進めて行きたいと思えます。

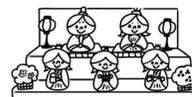
その年長さんたちが植えたちゅうりっぷも少しずつ丈を伸ばし始めました。暖かい春を楽しみにしているようです。

保護者の皆様には新園ということで、ご迷惑をお掛けしたことがたくさんありましたこととお詫び申し上げますとともに、ご協力をしてくださったことに深く感謝しております。ありがとうございました。



### 3月の予定

- 8日(金) 卒園遠足(5歳児)
- 13日(水) 衛生消費税・教育充実費 集金
- 14日(木) 誕生会・お別れ会
- 22日(金) 卒園式(4歳児参加)
- 27日(水) 時間外保育料集金(2月分)
- 29日(金) 避難訓練
- 30日(土) お弁当持参日



### お知らせとお願い

●卒園児、退園児の方は3月27日以降の時間外保育料の集金は個別に集金させていただきます。お声がけさせていただきます。また、継続のご家庭は3月27日以降分は4月に集金となりますのでよろしくお願いいたします。

●遅刻や欠席のご連絡は、朝9時までよろしくお願いいたします。

●お迎えの方がいつもと違う場合は、必ず連絡帳やお電話にてご連絡をお願いいたします。また、お迎えに来られた時は事故や怪我につながることや、駐車場が込み合うため、速やかに園内より退出をお願いいたします。

